



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 Recovery International株式会社 上場取引所 東
コード番号 9214 URL <https://www.recovery-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 旬也
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長 (氏名) 山本 浩史 (TEL) 03-5990-5882
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年12月期第3四半期 | 1,924 | — | 106 | — | 110 | — | 49 | — |
| 2024年12月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 49百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 ー百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期第3四半期 | 36.27 | 36.00 |
| 2024年12月期第3四半期 | — | — |

(注) 当社は、2025年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期第3四半期の数値及び前年同四半期増減率について記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年12月期第3四半期 | 1,319 | 742 | 56.2 |
| 2024年12月期 | — | — | — |

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 740百万円 2024年12月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,675 | — | 203 | — | 205 | — | 137 | — | 96.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) RePath株式会社、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年12月期3Q | 1,414,000株 | 2024年12月期 | 1,414,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年12月期3Q | 49,902株 | 2024年12月期 | 39,102株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2025年12月期3Q | 1,374,398株 | 2024年12月期3Q | 1,398,128株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社の決算補足説明資料は、決算発表後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2025年11月20日(木)に個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様(動画)及び説明内容(書き起こし)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更等) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |
| (企業結合等関係) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社は、中間連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇の長期化に伴う個人消費の伸び悩みや、米国の通商政策の動向、国内外の金融政策や為替相場の不安定な変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループが属する訪問看護業界においては、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を見据えて、高齢者の病気や障害があっても安心できる高度な医療・介護へのニーズ、また住み慣れた地域で暮らしたいという在宅医療へのニーズに応えることができる体制を構築することが急務となっております。

このような状況のもと、当社グループは『もう一人のあたたかい家族』を理念に掲げて、在宅医療領域で最大限に時間を活かす仕組みを提供し、チームで”いきいき”と働く人を増やすことを目指しております。また、この理念の下で、ご利用者様に寄り添った訪問看護をより多くの方に享受いただけるよう、人材確保と新規拠点開設に取り組んでおります。

2025年4月、6月に大田区に、2025年8月に世田谷区に新規拠点を開設し、当第3四半期連結会計期間においては、収益性の向上、人材確保に注力しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高1,924,045千円となりました。営業利益は106,512千円、経常利益は110,492千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は49,853千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当社グループは、従来「訪問看護サービス事業」の単一セグメントとしておりましたが、中間連結会計期間より、業務管理区分の見直しを行い、単一セグメントから「訪問看護サービス事業」「コメディカル人材紹介事業」の2区分に変更いたしました。

これは、当社100%出資子会社であるRePath株式会社が、株式会社clutch communicationより、同社が営む有料職業紹介事業等を譲り受けたことによるものであります。

(訪問看護サービス事業)

過去の出店および効率的な運営の取り組みにより売上高は1,870,669千円、セグメント利益は535,975千円となりました。

(コメディカル人材紹介事業)

2025年3月7日の株式会社clutch communicationからの事業譲り受けにより、売上高は53,376千円、セグメント損失は34,050千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,319,006千円となりました。

流動資産は1,151,390円となり、その主な内訳は、現金及び預金545,348千円、売掛金494,782千円であります。

固定資産は167,616千円となり、その内訳は、有形固定資産7,899千円、無形固定資産76,494千円、投資その他の資産83,222千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は576,216千円となりました。

流動負債は396,947千円となり、その主な内訳は、未払費用129,231千円、未払金64,467千円、未払法人税等52,473千円、賞与引当金71,750千円であります。

固定負債は179,269千円となり、その主な内訳は長期借入金146,672千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、742,789千円となりました。

その主な内訳は、資本金203,544千円、資本剰余金189,544千円、利益剰余金426,282千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期の業績予想につきましては、2025年3月28日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」にて公表の業績予想数値に変更はありません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日) | |
|------------------------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 545,348 |
| 売掛金 | 494,782 |
| 前払費用 | 38,273 |
| その他 | 73,435 |
| 貸倒引当金 | △449 |
| 流動資産合計 | 1,151,390 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | 7,899 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 75,328 |
| その他 | 1,165 |
| 無形固定資産合計 | 76,494 |
| 投資その他の資産 | 83,222 |
| 固定資産合計 | 167,616 |
| 資産合計 | 1,319,006 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 39,996 |
| 未払金 | 64,467 |
| 未払費用 | 129,231 |
| 未払法人税等 | 52,473 |
| 未払消費税等 | 612 |
| 預り金 | 37,283 |
| 賞与引当金 | 71,750 |
| その他 | 1,132 |
| 流動負債合計 | 396,947 |
| 固定負債 | |
| 長期借入金 | 146,672 |
| 退職給付に係る負債 | 27,428 |
| 資産除去債務 | 5,168 |
| 固定負債合計 | 179,269 |
| 負債合計 | 576,216 |

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2025年9月30日)

| | |
|---------|-----------|
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 203,544 |
| 資本剰余金 | 189,544 |
| 利益剰余金 | 426,282 |
| 自己株式 | △78,391 |
| 株主資本合計 | 740,978 |
| 新株予約権 | 1,810 |
| 純資産合計 | 742,789 |
| 負債純資産合計 | 1,319,006 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 1,924,045 |
| 売上原価 | 1,099,457 |
| 売上総利益 | 824,588 |
| 販売費及び一般管理費 | 718,075 |
| 営業利益 | 106,512 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 853 |
| 助成金収入 | 3,786 |
| その他 | 972 |
| 営業外収益合計 | 5,611 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,281 |
| その他 | 349 |
| 営業外費用合計 | 1,631 |
| 経常利益 | 110,492 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 51 |
| 特別利益合計 | 51 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 110,544 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 78,137 |
| 法人税等調整額 | △17,446 |
| 法人税等合計 | 60,690 |
| 四半期純利益 | 49,853 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 49,853 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日) | |
|---|--------|
| 四半期純利益 | 49,853 |
| 四半期包括利益 | 49,853 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 49,853 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 (注) 2 |
|---------------------------|----------------|------------------|-----------|--------------|-------------------------|
| | 訪問看護 サービス事業 | コメディカル 人材紹介事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,870,669 | 53,376 | 1,924,045 | — | 1,924,045 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,870,669 | 53,376 | 1,924,045 | — | 1,924,045 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 535,975 | △34,050 | 501,924 | △395,412 | 106,512 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△395,412千円は、報告セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、中間連結会計期間より子会社RePath株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「訪問看護サービス事業」と「コメディカル人材紹介事業」に区分しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、子会社であるRePath株式会社がM&Aにより有料職業紹介事業等を譲り受けたことに伴い、「コメディカル人材紹介事業」セグメントにおいて、のれんの金額が79,994千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

| 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日) | |
|---|---------|
| 減価償却費 | 3,569千円 |
| のれん償却費 | 4,666千円 |

(企業結合等関係)

(事業の譲受)

当社は、2025年2月17日開催の取締役会において、当社完全子会社であるRePath株式会社(以下「当社子会社」といいます。)が、株式会社clutch communicationより、同社が営む有料職業紹介事業等を譲り受け(以下「本事業譲受」といいます。)、新たな事業を開始することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結いたしました。当契約に基づき2025年3月7日付で事業の譲受を完了いたしました。

(1) 事業譲受及び新たな事業開始の理由

当社子会社による本事業譲受は、当社グループの中長期的な成長戦略の一環として実施するものであります。

新たな事業として、当社子会社で有料職業紹介事業を開始することによって、既存事業である訪問看護サービス事業の重要な経営課題である看護師等の人材確保に関して、さらに強化されるものと考えております。

具体的には、人材獲得力の強化及び採用プロセスの効率化の面で、シナジー効果を最大限に発揮することが可能になると考えております。

また、本事業譲受は中長期的な戦略的取り組みにも寄与するものと考えております。特に、訪問看護サービス事業におけるコンサルティング等の新たな事業領域の展開においても、譲受事業の知見やリソースを活用することで、より効果的かつ効率的な事業展開が可能になると考えております。

当社グループは、本事業譲受を通じて、訪問看護市場における競争力を強化し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

(2) 子会社の概要

| | |
|------------|---|
| ①名称 | RePath株式会社 |
| ②本店所在地 | 東京都新宿区西新宿五丁目8番2号 恵徳ビル801号室 (現・東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目30番8号) |
| ③代表者の氏名・役職 | 代表取締役 柴田 旬也 |
| ④事業内容 | 有料職業紹介事業等 |
| ⑤資本金 | 5,000,000円 |
| ⑥設立年月日 | 2024年12月17日 |
| ⑦出資比率 | 当社 100% |

(注)2025年6月1日付で、本店所在地を東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目30番8号へ変更しております。

(3) 事業譲受の相手先の概要

| | |
|-------------|-----------------------------|
| ①名称 | 株式会社clutch communication |
| ②本店所在地 | 東京都港区新橋三丁目8番8号 リパティ8ビル4階 |
| ③代表者の氏名・役職 | 代表取締役 須藤 仁司 |
| ④事業内容 | 有料職業紹介事業等 |
| ⑤資本金 | 47,600,000円 |
| ⑥設立年月日 | 2021年5月19日 |
| ⑦当社と当該会社の関係 | 該当事項はありません。 |

(4) 事業譲受の概要

① 譲受事業の内容

看護を主とする有料職業紹介事業等

② 事業譲受日

2025年3月7日

③ 事業譲受の法的形式

取得対価を現金の財産のみとする事業譲受

(5) 四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2025年3月7日から2025年9月30日

(6) 取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|----------|
| 取得の対価 | 現金 | 80,000千円 |
| 取得原価 | | 80,000千円 |

(7) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

79,994千円

② 発生原因

今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(8) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

| | |
|------|---------|
| 流動資産 | 8,232千円 |
| 流動負債 | 8,226千円 |